

(別添資料1)

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービス オレンジ

支援プログラム（参考様式）

作成日

7 年

3 月

10 日

法人（事業所）理念		発達に心配のあるお子様の今と ご家族の思いをサポートします										
支援方針		・遊びを通しコミュニケーション、社会性、基本的生活習慣の獲得 ・発達段階に応じた少人数クラス（1クラス2～4名） ・利用毎に個別療育・集団療育を受られる										
営業時間		9	時	0	分から	17	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	・基本的生活習慣の獲得（身支度・食事・排泄・片付け等）を担当スタッフが一人ひとりの発達に合わせ丁寧な声かけとサポートを行い支援します。 また、入園・入学へ向けての集団生活を意識したプログラムを取り入れ実践していきます。（朝の会・座る・待つ・集団行動・余暇活動） ・食事…苦手な食べ物は” 苦手だよ ” 量を減らして” など周りの大人に訴えることを伝え、和やかな雰囲気のなかで食事をします。午後のおやつは、3種類提供し様々な触感や味を経験します。										
	運動・感覚	・身体全体を使って遊ぶ粗大運動➡微細運動を存分に行ない運動機能の向上目指します。また、苦手な動作や感覚や感触をスモールステップを踏みながら促していきます。また、苦手な活動はお友達が遊ぶ姿を見ることから始め、お子様が納得する機会やスタッフと一緒に行うことで安心して参加できる環境づくりを大切にしています。										
	認知・行動	スケジュールをみえる化し絵カードや実物をみてお子様自らが活動内容に納得し見通しをもって参加・行動できる環境を整えることで認知、行動を促していきます。また、個別療育を通じて認知面を促していきます。（物の名前・概念・仲間分け・メモリー等）										
	言語 コミュニケーション	お子様の視線に目を向け見ている物、心で感じた事を言葉で代弁したり、遊びを通し実物や実体験ををふんだんに行い言葉の獲得や表現方法の取得を促します。また、個別療育ではスタッフと1対1の時間を通し必要に応じて言葉の発達を促すプログラムを行います。そして一クラス2～4名の中で、お友達や先生を意識できる環境を作り出しコミュニケーションの向上を計ります。										
	人間関係 社会性	一クラス2～4名制の超少人数制をプログラムに取り入れることで、先生との関係➡お友達との関係➡集団生活の中で様々な活動を通し社会性（チームで活動・外食体験・戸外活動）をはぐくめるよう促していきます										
家族支援		・面談（年2回）・オンライン参観（年3回）・親子でオレンジ（不定期）							移行支援		・幼稚園・保育園・入学への支援	
地域支援・地域連携		・お買い物体験・外食体験・戸外活動							職員の質の向上		入社時研修・PDCAサイクルの実施・OJT研修・キャリアアップ研修・ICTソフト導入	
主な行事等		・夏祭り・クリスマス会・お買い物体験・外食体験・卒業旅行										